

重機取付型セーフティカメラシステム ドボレコJK SX-DB200

制御ボックス ファームウェアアップデート手順

ご使用前に本書、本体付属の取扱説明書（保証書付）、取扱説明書内の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ドボレコJK(SX-DB200) 制御ボックス ファームウェア アップデート手順

この資料ではドボレコJK(SX-DB200) 制御ボックス (以下、制御ボックス)のファームウェアのアップデート手順について説明します。ファームウェアのアップデートには2つの方法があります。

1. microSDカードを使う方法

“1. microSDカードでのファームウェアアップデート” をご参照ください。

2. USBメモリを使う方法

“2. USBメモリでのファームウェアアップデート” をご参照ください。

ドボレコS(SX-DB100) 制御ボックスの手順は別資料をご参照ください。

ドボレコS(SX-DB150) 制御ボックスの手順は別資料をご参照ください。

1. microSDカードでのファームウェアアップデート

1. microSDカードでのファームウェアアップデート

1.1 用意するもの

物品	備考欄
電源	<p>シガーソケットへ給電可能なもの(12~24V,3A以上) 電源例：</p> <p>①車両  ②ポータブルバッテリー  ③AC/DC変換アダプタ </p>
制御ボックス	起動可能な状態でご用意ください
モニタ	ドボレコJK(SX-DB200)に同梱のモニタもしくはHDMI入力が可能なもの
USBハブ	ドボレコJK(SX-DB200)に同梱のUSBハブ。
USBテンキー	USBキーボードでも可能です。
ファームウェアを入れたmicroSDカード	次ページ“1.1.1.事前準備”で説明します。 制御ボックスに挿入されているmicroSDカードをご使用いただけます。

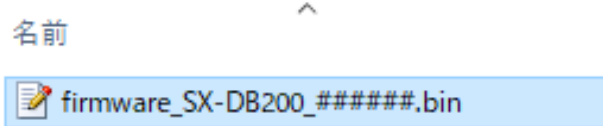

1. microSDカードでのファームウェアアップデート

1.1.1.1. 事前準備

ファームウェアを入れたmicroSDカードを準備します。

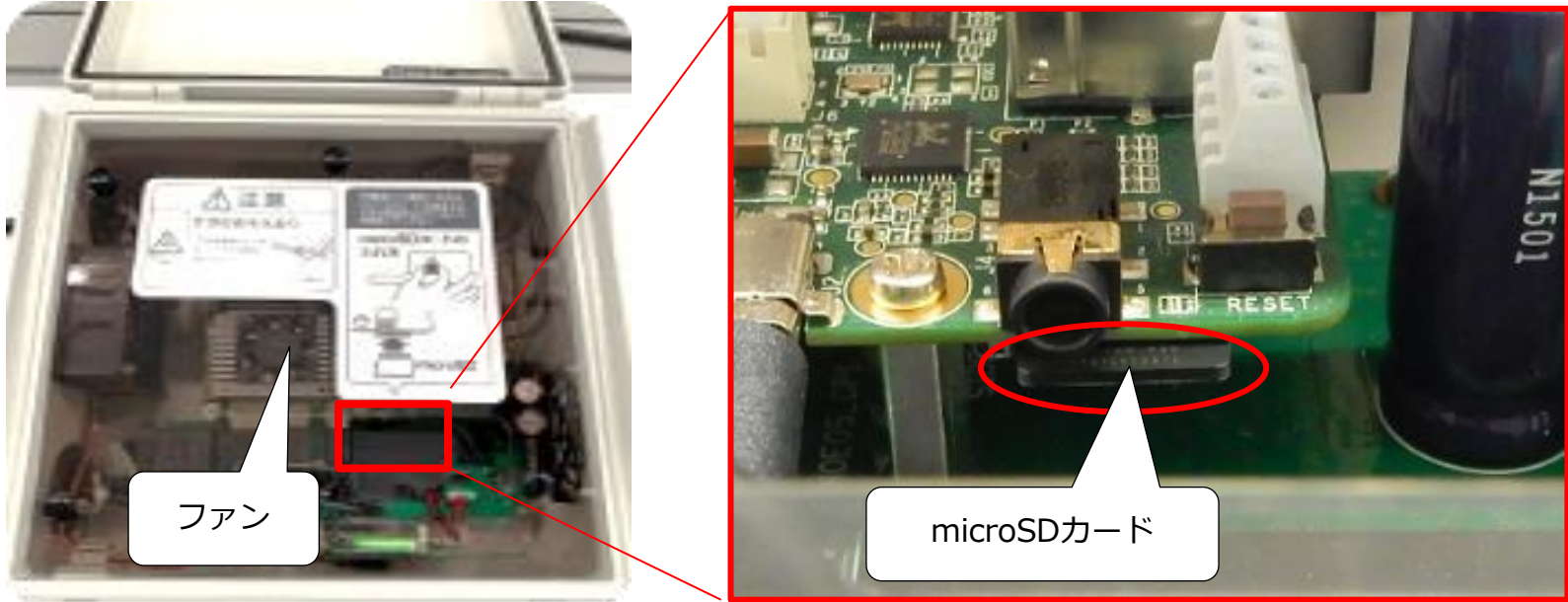
準備作業はWindowsPCで行います。

WindowsPCでmicroSDカードを読めるようにカードリーダーやSDカード変換アダプタをご用意ください。

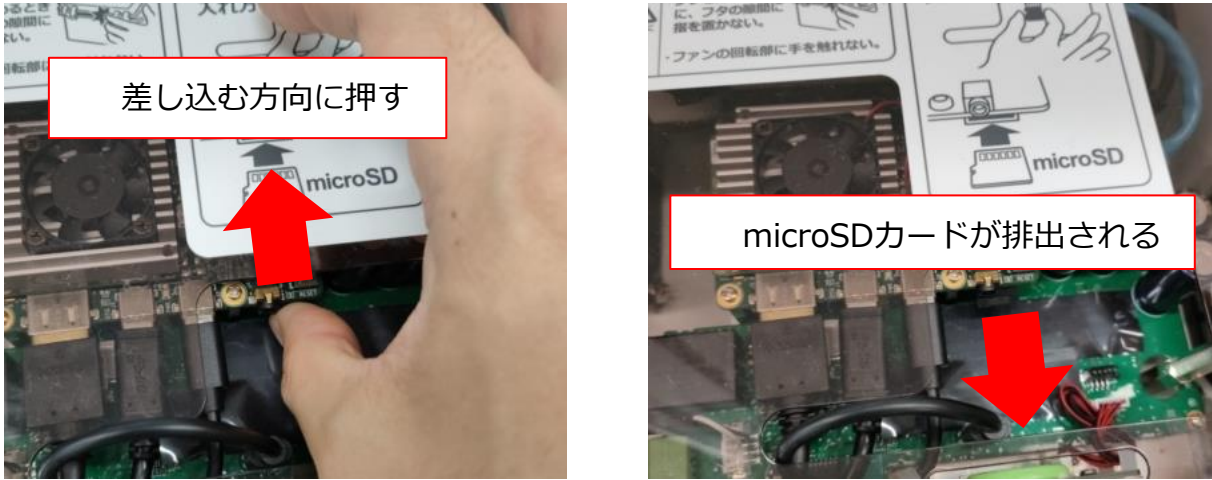

手順	作業方法
1	<p>弊社ホームページ(以下URL) からファームウェアをダウンロードしてください。 ※ダウンロード手順はホームページ上に記載しています。 https://xacti-co.com/support/dl_center_doboreco/sx-db200/</p>
2	<p>WindowsPCにmicroSDカードを接続します。 必要ならばmicroSDカードリーダーをご用意ください。</p>
3	<p>microSDカードのルートディレクトリ（直下のディレクトリ）にファームウェアを保存します。</p>  <p>※ファイル名はバージョンによって異なります。#部分にはバージョン名が入ります。</p>
4	<p>ファームウェアのファイル名をfirmware.binに変更します。</p>  <p>※firmware.binはファームウェアアップデート時に自動的に消去されます。</p>

1. microSDカードでのファームウェアアップデート

1.1.2. 制御ボックスからmicroSDカードの取り出し方

手順	作業方法
1	<p>システム電源がOFFの状態ですべての制御ボックスを開けてください。電源OFF直後は制御基板のファンがまだ回っている可能性があるため、ファンが止まるまでお待ちください。 下図赤丸の箇所にmicroSDカードが刺さっています。</p>  <p>The image consists of two photographs. The left photograph shows the interior of a control box with a fan and a printed manual. A red rectangular box highlights the location of the microSD card slot. A callout label 'ファン' (fan) points to the fan. The right photograph is a close-up of the green PCB, showing a 'RESET' button and the microSD card slot. A red circle highlights the slot, and a callout label 'microSDカード' (microSD card) points to it.</p>

1. microSDカードでのファームウェアアップデート

手順	作業方法
2	<p>microSDカードを差し込む方向に軽く押ししてください。 小さくカチッと音が鳴り、microSDカードのロックが解除され、microSDカードが押し出されます。</p>  <p>差し込む方向に押す</p> <p>microSDカードが排出される</p>
3	<p>microSDカードを取り出します。</p> 

1.2. ファームウェアアップデート手順

ファームウェアアップデートの作業手順を説明します。

手順	作業方法
1	<p>制御ボックスにUSBハブを接続します。</p> <p>接続前：</p>  <p>接続後：</p> 
2	<p>USBハブにテンキーを接続します。</p> 


1.2. ファームウェアアップデート手順

手順	作業方法
3	<p>ファームウェアをコピーしたmicroSDカードを制御ボックスに差し込みます。 新規のmicroSDカードを使用する場合は、制御ボックスに挿入済みのmicroSDカードを取り出す必要があります。 取り出し方は” 1.1.2. 制御ボックスからmicroSDカードの取り出し方”をご参照ください。 microSDの切り欠きの向きを保護カバーの表示に合わせてください。</p> 
4	<p>指でmicroSDカードを奥まで押し込んでください。 カチッと音が鳴り、microSDカードが固定されます。 指を離れたときにmicroSDカードが押し戻された場合は再度押し込んでください。</p> 

1.2. ファームウェアアップデート手順

手順	作業方法
5	<p>電源を制御ボックスに接続し、制御ボックスを起動します。</p> <p>接続前：</p>  <p>制御ボックス 電源</p> <p>接続後：</p>  <p>ファームウェアアップデートが開始されると、自動的に制御ボックスが再起動します。制御ボックス再起動後、1分程度Xactiロゴ表示の起動中画面が表示され、その後、再度制御ボックスが再起動し、メンテナンスモード画面表示になります。ファームウェアアップデートが完了すると、microSDカードに保存していたfirmware.binは自動で消去されます。microSDカード内にsetting.iniが自動で作成される場合があります。不要なsetting.iniは消去してください。</p> <p>再起動画面：</p>  <p>Xactiロゴ画面：</p>  <p>メンテナンスモード画面：</p>  <pre>name: xc-SX-D8200 [Ver: 00.09.03.] id: 7C095529864 [total time: None] eth0: 172.21.97.119/24 [7C095529864] Gateway: 172.21.97.1 DNS: 172.21.97.109 172.21.110.100 rte[0] [ip: 172.21.97.119] CPU/CAM温度: 54°C/37°C SD使用率: 19% ext1 [ext2] [led[220] in[ee]]</pre> <p>メンテナンスモード [テンキーで設定可能] *のついている項目はアプリ再起動後に戻映 項目 (1) [0] [2] 値 (1) [1] [4] [初期値] [5] 設定 (初期化 [-] 保存 [Enter]) アプリ (再起動 [*] 終了 [キーボード抜])</p> <p>実行メニュー [SD] [検索] (*) : 1 サーバー選択 (*) : 1 言語 (*) : 0 検索カメラ数 (*) : 2 2カメラ時左右選択 (*) : 0</p> <p>2024/02/05 16:00:58</p>

1.2. ファームウェアアップデート手順

手順	作業方法
6	<p>メンテナンスモード画面が表示されたらファームウェアアップデート完了です。 正しくファームウェアが書き込めたか確認する場合は、画面右下のバージョン情報がダウンロードしたファームウェアのバージョンとあっているかを確認してください。</p>  <p>設定変更が必要な場合は、“3.アップデート後の作業”を実施してください。 変更が不要な場合は、アップデート作業は終了です。 電源を落として、USBハブを制御ボックスから抜いてください</p>

2. USBメモリでのファームウェアアップデート

2. USBメモリでのファームウェアアップデート

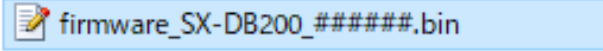

2.1 用意するもの

物品	備考欄
電源	<p>シガーソケットへ給電可能なもの(12~24V,3A以上) 電源例：</p> <p>①車両  ②ポータブルバッテリー  ③AC/DC変換アダプタ </p>
制御ボックス	起動可能な状態でご用意ください
モニタ	ドボレコJK(SX-DB200)に同梱のモニタもしくはHDMI入力が可能なもの
USBハブ	ドボレコJK(SX-DB200)に同梱のUSBハブ。
USBテンキー	USBキーボードでも可能です。
ファームウェアを入れたUSBメモリ	次ページ“2.1.1.事前準備”で説明します。

2. USBメモリでのファームウェアアップデート

2.1.1. 事前準備

ファームウェアを入れたUSBメモリを準備します。
準備作業はWindowsPCで行います。

手順	作業方法
1	<p>弊社ホームページ(以下URL) からファームウェアをダウンロードしてください。 ※ダウンロード手順はホームページ上に記載しています。 https://xacti-co.com/support/dl_center_doboreco/sx-db200/</p>
2	<p>WindowsPCにUSBメモリを接続します。</p>
3	<p>USBメモリのルートディレクトリ (直下のディレクトリ) にファームウェアを保存します。</p> <p>名前 ^</p>  <p>※ファイル名はバージョンによって異なります。#部分にはバージョン名が入ります。</p>
4	<p>ファームウェアのファイル名をfirmware.binに変更します。</p> <p>名前 ^</p>  <p>※firmware.binはファームウェアアップデート時に自動的に消去されます。</p>

2. USBメモリでのファームウェアアップデート


ファームウェアアップデートの作業手順を説明します。

手順	作業方法
1	<p>制御ボックスにUSBハブを接続します。</p> <p>接続前：</p>  <p>接続後：</p> 
2	<p>USBハブにUSBテンキーとUSBメモリを接続します。</p>  

2. USBメモリでのファームウェアアップデート

手順	作業方法
3	<p>電源を制御ボックスに接続し、制御ボックスを起動します。</p> <p>接続前： 接続後：</p> <p>再起動画面： Xactiロゴ画面： メンテナンスモード画面：</p> <p>ファームウェアアップデートが開始されると、自動的に制御ボックスが再起動します。制御ボックス再起動後、1分程度Xactiロゴ表示の起動中画面が表示され、その後、再度制御ボックスが再起動し、メンテナンスモード画面表示になります。ファームウェアアップデートが完了すると、USBメモリに保存していたfirmware.binは自動で消去されます。USBメモリ内にsetting.iniが自動で作成される場合があります。不要なsetting.iniは消去してください。</p>

2. USBメモリでのファームウェアアップデート

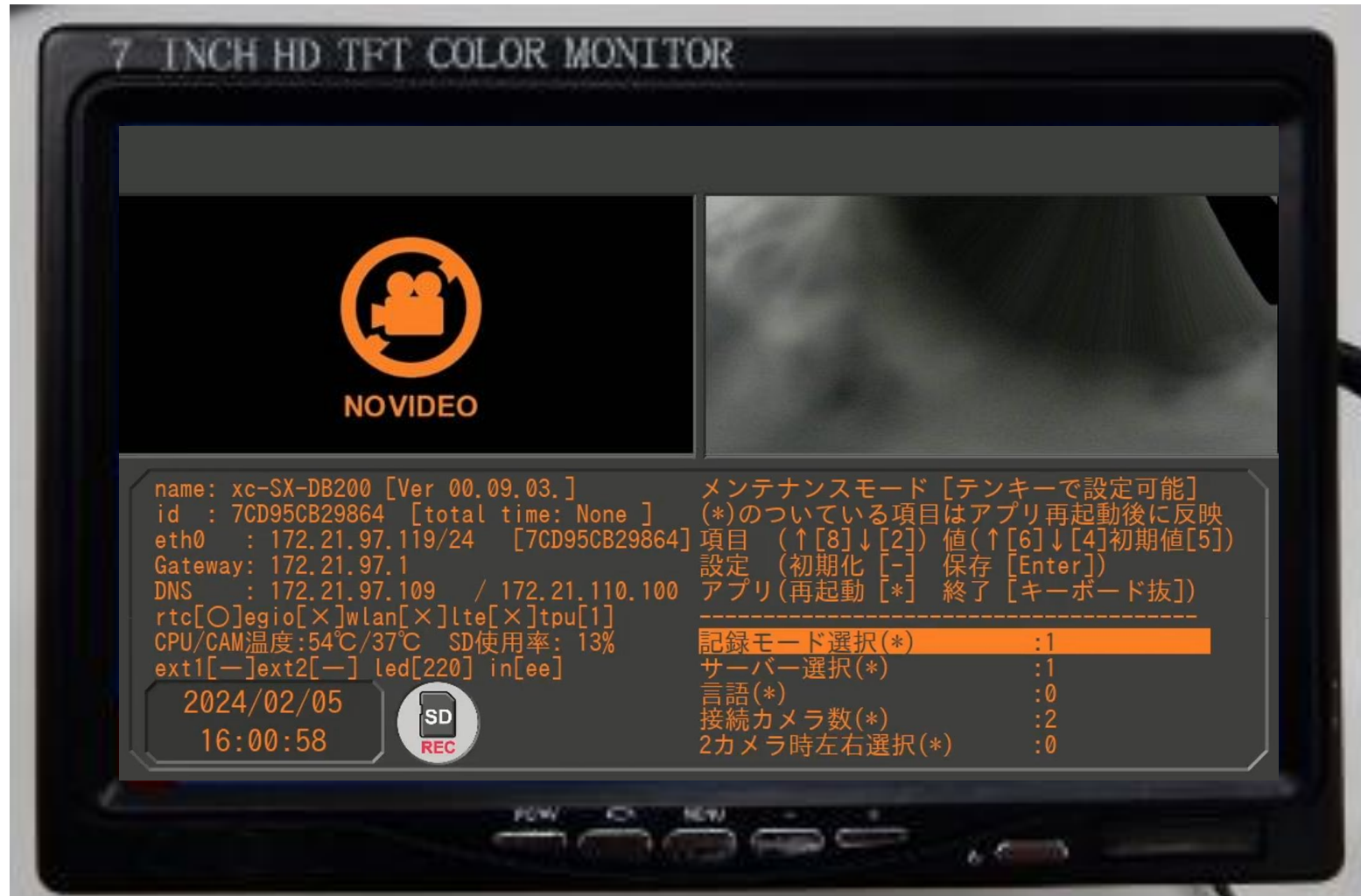
手順	作業方法
4	<p>メンテナンスモード画面が表示されたらファームウェアアップデート完了です。 正しくファームウェアが書き込めたか確認する場合は、画面右下のバージョン情報がダウンロードしたファームウェアのバージョンとあっているかを確認してください。</p>  <p>設定変更が必要な場合は、“3.アップデート後の作業”を実施してください。 変更が不要な場合は、アップデート作業は終了です。 電源を落として、USBハブを制御ボックスから抜いてください</p>

3. アップデート後の作業

3. アップデート後の作業


メンテナンスモード画面での設定の初期化、あるいは変更を行います。

メンテナンスモード画面：




3. アップデート後の作業

メンテナンスモード画面になっていない場合は制御ボックスにUSBハブを接続し、USBキーボードを挿してください。

手順	作業方法
1	<p>制御ボックスに古い設定が記録されていないかを確認します。 ファームウェアアップデート後も古い設定のまま使用することも可能ですが、制御ボックスに古い設定が記憶されている場合、一部の設定が変更できなくなります。 古い設定を削除する場合は設定の初期化を行います。</p> <p>古い設定が入っている状態は2つの方法で確認可能です</p> <ol style="list-style-type: none">1. ドボレコ画面の文字の色が黄色（正常な場合はオレンジ色）2. メンテナンスモード右側の文章に“旧バージョンの設定が読み込まれていません”と表示される（下図参照）  <p>設定を初期化する場合は次ページ手順2へ 設定変更を行う場合は次ページ手順3へ</p>

3. アップデート後の作業

手順	作業方法														
2	<p>制御ボックスの設定値を初期化します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. USBテンキーの“-”(マイナス)キーを押下します。 画面左上に“setting.ini を削除しました”と表示され、旧ファームウェアで記憶していたsetting.iniを削除します。2. USBテンキーの“*”(アスタリスク)キーを押下します。 システムが再起動し、再度メンテナンスモードが起動します。 文字の色がオレンジ色になっていることを確認してください。 														
3	<p>制御ボックスの設定値を変更します。 テンキーによる操作方法は以下の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="384 682 1811 1033"><thead><tr><th>キー</th><th>動作</th></tr></thead><tbody><tr><td>2、8</td><td>項目を上下移動</td></tr><tr><td>4、6</td><td>設定値を増減</td></tr><tr><td>5</td><td>設定値を初期化</td></tr><tr><td>Enter</td><td>設定値を保存。変更箇所はカード上のsetting.iniにも書き加えられます。</td></tr><tr><td>*(アスタリスク)</td><td>ドボレコを再起動</td></tr><tr><td>-(マイナス)</td><td>設定値を初期化 (出荷状態)</td></tr></tbody></table>	キー	動作	2、8	項目を上下移動	4、6	設定値を増減	5	設定値を初期化	Enter	設定値を保存。変更箇所はカード上のsetting.iniにも書き加えられます。	*(アスタリスク)	ドボレコを再起動	-(マイナス)	設定値を初期化 (出荷状態)
キー	動作														
2、8	項目を上下移動														
4、6	設定値を増減														
5	設定値を初期化														
Enter	設定値を保存。変更箇所はカード上のsetting.iniにも書き加えられます。														
*(アスタリスク)	ドボレコを再起動														
-(マイナス)	設定値を初期化 (出荷状態)														

4. 注意点

4. 注意点

- ファームウェアアップデートがうまく行われない場合
microSDカード（USBメモリ）のルートディレクトリ（直下のディレクトリ）にfirmware.binが保存されていることをご確認ください。
ファイル名のスペルが正しくない場合はファームウェアアップデートされませんのでご注意ください。
- ファームウェアが消えてしまう
firmware.binがmicroSDカード上にある場合は、ファームウェアアップデートの成否にかかわらず、自動で削除します。
- SX-DB200制御ボックスのファームウェアはSX-DB200のみがファームウェアアップデートの対象です。
SX-DB200以外のモデルのファームウェアアップデートは出来ません。